

平成28年度 公益財団法人日立市公園協会 事業報告

本協会は、「日立市かみね公園」エリアを中心に、公園内に立地する2つの遊園地における遊戯施設遊具の運行、飲食及び販売事業の展開のほか、来訪者に「かみね公園」の四季折々の魅力を味わっていただくべく、各種イベント等を開催しています。

さらには、日立市が所有する健康増進施設である「日立市ホリゾンかみね」と「日立市かみね市民プール」及び観光施設である「奥日立きららの里」についても平成18年度から指定管理者として継続して管理運営を行っております。

本協会は、これら5つのレジャー施設の運営等を通し、日立市民をはじめ、近隣からの多くの来場者に憩いの場を提供することで地域活性化への寄与に努めています。

平成28年度は、3年間の計画である「中期経営計画2014」の最終年度にあたり、当該中期経営計画及び平成28年度事業計画に基づき、広報宣伝活動、施設整備や各種イベント開催等の諸事業を展開いたしました。しかしながら、繁忙時期である8月から9月にかけての天候不順等により、入場者数及び事業収入とも、ここ数年では高水準であった前年度より減少しましたが、ほぼ例年並みの収益等を確保することができました。

I 事業内容

1 公益目的事業【市民福祉事業】

かみね公園内に立地する「レジャーランド」及び「ゆうえんち」、さらには日立市から受託している「日立市ホリゾンかみね」と「日立市かみね市民プール」及び「奥日立きららの里」の運営事業のほか、各種イベントの開催や来場者サービス及び受託施設における各種教室等の自主事業を展開し、市民を中心とする来訪者の生活の潤いづくりに努めました。

(1) かみね公園の事業

ア かみね公園全般の事業

園内で開催する各種催事は、日立市や関係団体と連携して事業を展開しました。

代表的な催事として、日本のさくら名所百選に選定されているかみね公園・平和通りを中心に開催となりました「第54回日立さくらまつり」におきましては、かみね公園会場の運営の一部を担いました。開催期間中は、協力事業として桜のライトアップのほか、レジャーランドにおけるキャラクターショーやのりもの乗り放題デー等を開催し、賑わいづくりに努めました。

また、来園者が最も多く見込めるゴールデンウィークには、「かみね公園ちびっこまつり」を開催し、レジャーランド内におけるキャラクターショーやのりものタイムサービス等を実施するほか、園内無料シャトルバスの運行とともに交通誘導警備員を配置し、来訪者の利便と混雑防止を図りました。

さらに、日立市の夏の風物詩であり59回目の開催となりました夏の「日立あんどんまつり」におきましては、期間中の園内ライトアップ、市内の子どもを対象とした子どもあんどん絵画コンテスト(234点の応募)を実施しました。また、新たな事業としまして、公園内に併設されている吉田正音楽記念館との共催にて2日間にわたり、市内外から公募した音楽愛好者によるコンサート、舞踊団体等による演舞、映画上映会やバルーンアート等(参加者約5,400名)を開催したほか、日立市かみね動物園との連携により相乗効果を上げるべく「夜の動物園」の開催とともに、レジャーランドとゆうえんちの夜間営業をするなど各種イベントを実施しました。

その他、「かみね公園秋まつり」や「かみね公園正月まつり」など、1年を通して各種イベントを開催することにより、公園全体の魅力づくりを図りながら憩いの場の提供に努めました。

イ レジャーランドの事業

「レジャーランド」は、ジェットコースターや大観覧車等の大型遊戯

施設を有する遊園地であり、低廉な料金でのりものを利用できる乗り放題デーやタイムサービス等を各まつり期間中に実施しました。合わせて、入場者増を図るためキャラクターショー(年間11回開催)の開催や、本協会のオリジナルキャラクター着ぐるみによる利用者サービスのほか、入園無料期間を設けました。以上のように、各種イベントの開催や大型遊戯施設を備える遊園地の運営を通し、地域住民等に潤いのある生活を享受していただけるよう、より親しまれる施設づくりに努めました。

ウ ゆうえんちの事業

「ゆうえんち」は、動物園に併設されており、比較的low年齢層の来園者が多い施設です。開催するイベントも利用者層に合わせた3世代ファミリー観覧車無料乗車券のプレゼント、七五三時期の千歳飴プレゼント、動物園とタイアップしたカブト虫やクワガタなどの身近な生き物の展示、ハロウィンイベント、冬の動物園&ゆうえんちまつり等を開催しました。「ゆうえんち」の運営にあたっては、来園した幼児・児童等が家族や友人とのふれあいや思い出づくりの機会を提供することを主眼としており、子どもたちの健全な成長に寄与することに努めました。

また、経年劣化が進んでおりました遊戯施設「観覧車」の塗装等工事を実施するとともに、多くの動物園来園者に「ゆうえんち」を利用し易くするため、ゆうえんち事務所脇に動物園出口の整備を行いました。

(2) 受託事業

「奥日立きららの里」、「日立市ホリゾンかみね」及び「日立市かみね市民プール」の3施設は、平成18年度から日立市の指定管理者制度の導入により、本協会が3年ごとの指定期間で継続的に指定されております。平成28年度は新たな指定期間の2年目であり、日立市の意向を十分に踏まえ、諸事業を展開しつつ利用者増に努めるとともに、安全かつ効率的な管理運営を行いました。

ア 奥日立きららの里の事業

「奥日立きららの里」は、利用者の健康の増進と山村地域の振興に寄与するという施設の目的を踏まえて、市内外の方々に自然に親しみ、自然とふれあう場として広く利用していただけるよう、施設の管理を行いました。施設の特性を活かして、春まつり、秋まつり、世界のクワガタ・カブトムシ展、ホテル観賞会やレクリエーション大会、ランニングフェスタ等を開催しました。

また、各種イベントの開催のほか、平成 27 年度は閑散期である 12 月 1 日から翌年の 3 月 31 日までの期間を入場無料としましたが、本年度は近隣で茨城県北アートの展示があることを考慮して、入場無料期間を 9 月 17 日から翌年の 3 月 31 日までとしたことにより、入場者増に結びつけることができました。

イ 日立市ホリゾンかみねの事業

「日立市ホリゾンかみね」は、市民の研修、教養及び余暇活動施設として市民の余暇活動の充実及び福祉の増進を図るという目的を踏まえて、管理運営を行いました。施設内にトレーニングルームや浴室を備えていることから、それらを活用した自主事業としてエアロビクス教室、ソフトエアロビクス教室、マットピラティス教室等を開催しました。

また、1 階ロビーの一部をギャラリーとして市民に開放し、写真展、魚拓展やパッチワーク作品展等を開催しました。

ウ 日立市かみね市民プールの事業

「日立市かみね市民プール」は、市民の体位向上及びレクリエーションの場として市民の心身の健全な発達及び福祉の増進を図るという施設の目的を踏まえて、管理運営を行いました。市民プールにおいては、自主事業として水泳教室、水中エアロビクス教室及び水中ウォーキング教室を開催し、利用者増に努めました。

2 収益事業【販売事業】

かみね公園内及び奥日立きららの里内等における便益事業として、施設内において物品販売や出店等を行い、公共の福祉増進に寄与する活動を行うための資金確保に努めました。

また、収益事業の一部として長年にわたり賃貸により便益施設として運営してきました「レストラン観光」につきましては、賃貸先の営業撤退及び建物の老朽化等により、日立市をはじめとする関係各所と協議し、解体工事を行いました。その費用の支出に伴い、本年度の収益事業の運営は、厳しい状況となりました。

(1) 施設内販売事業及び出店事業

施設内販売事業においては、収益増を図るため類似施設の売れ筋商品の調査を実施したほか、積極的に新規メニューやオリジナルメニューの開発を行うとともに、季節ごとのメニューの追加を実施しました。

出店事業においては、日立市池の川運動公園売店を中心に各種イベント開催時の出店を行い収益を確保しました。

(2) カーニバルコーナー運営事業

レジャーランド内において、比較的大型のゲーム機を 9 機種ほど設置し、コーナーを設けて運営しました。利用料金は 100 円から 200 円で、各々のゲーム機による得点に応じ、ぬいぐるみ等の景品を提供しました。

(3) プレイランド運営事業

一般的なゲームコーナーであり、レジャーランド内において、100 円から 200 円の投入式ゲーム機及び定置式のりものを 6 機種ほど設置し運営しました。

II 管理施設の利用状況及び売上実績

1 利用状況

(1) かみね公園

(単位：人)

区分	遊園地	レジャーランド	市民プール	ホリゾン	合計
28年度	344,107	61,414	65,245	76,332	547,098
27年度	359,480	64,082	67,109	78,317	568,988
増減	△ 15,373	△ 2,668	△ 1,864	△ 1,985	△ 21,890

※ 遊園地利用者数は、動物園利用者数

(2) きららの里

(単位：人)

28年度	84,306
27年度	72,209
増減	12,097